



在宅医療での「コロナ」ワクチン

6月以降、西東京市も急ピッチで新型コロナウイルスワクチンを打っています。

4月頃には、私の頭の数人の在宅医療の仲間には、1日6人、患者さん宅で打ってあげれば、3



松原 清二 医師
在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポート医

週間で120人の全患者さんをカバーできる、と思っていました。

ただ、よく考えると、注射後の観察が15分から30分となると、通常業務に加え90分から180分も時間がかることになり

ます。仕事が夜の12時過ぎまで終わらない恐れさえあります。

これはマズいと思い、数人の在宅医療の仲間には、1日6人、患者さん宅で打ってあげれば、3

という結論でした。

とはいえ、多くの患者さんはワクチンを希望されていきます。何とかなら

ないかと考え、ワクチン接種の時だけは、1日4人ほど外来に来てもらうことを計画しました。加

えて、1日2人まで、人工呼吸器の使用者や、身体が固まって動けないよう

な人にはご自宅で注射をすることを考えました。

そこで患者さんにアナウンスしたところ、3分の2の患者さんは、外来でのワクチン接種に協力してくれました。

ただ私も経験のないワクチンなので、外来で接種したその日のうちに、訪問か電話で副反応が出

ていないかを確認するようになっています。今のところは、大きなトラブルもなく安心しています。

報道ではワクチン接種の進んだイスラエルなどでは、マスクもせずに外出できるなど、少しずつ希望の光をかざすような

効果も出ています。日本も、早く安心した日常生活を送れるように、今後に期待したいところです。

【まつばらホームクリニック】
 ☎ 042-439-1250
 西東京市東町 4-14-18-2F
 (訪問中のため不在が多い)
 ■電話対応：午前9:00～午後6:00
 ■定休日：土日(祝日は診療)
 ■訪問地域：西東京市、東久留米・新座・練馬の一部

↑ 診療相談はこちらから

まつばらホームクリニック 検索